

トランプの合衆国？ 問題は何か？ 反撃を開始することだ！
United States of Trump? What's at stake? The fight back begins!

社会主義解放党
2016年11月9日

社会主義解放党の声明

ドナルド・トランプが合衆国の次期大統領となる。最も緊急なことは、移民、ムスリム、有色人種を防衛し、新自由主義的資本主義の破壊との闘いにおける労働者階級の団結・連帯のもうひとつのビジョンを前進させるために、すべての先進的な人々が街頭に出ることだ。それがトランプのデマゴギーに対抗し、トランプには彼が変革をもたらすと期待している人々の生活条件を改善するいかなる実際のプログラムもないという事実を暴露する唯一の道だ。

人種差別主義者で、性差別主義者で、外国人嫌いで、とてつもなく好ましくない評価を受けていた億万長者でリアリティー番組のスター、政治的エスタブリッシュメントと支配階級からの支持を欠如させた人物が、いかにして大統領選に勝利することができたのか？

クリントンの敗北の最大で唯一の原因は、2012年のバラク・オバマとミット・ロムニーの選挙と比較すると、2016年に投票所に行った民主党支持の有権者が6百万人以上も減ったという事実であった。

民主党とウォール・ストリートのエリートたちがこの国の働く人々の大部分が直面している最大の問題の解決に完全に失敗したことの結果として、トランプは勝利した。このエリートたちは自分たち自身の基盤を含めて、有権者の大部分の支持を得ることは当然だと思っていた。バーニー・サンダースは総選挙でトランプを粉砕したかもしれないが、エリートたちは彼の造反キャンペーンを打ち負かし、極端な傲慢さをもって労働者階級のコミュニティーを扱いつつ、現状を縮図的に示す候補者を推薦した。人種差別主義者で性差別主義者のトランプは、ラティーノの間では29%、アフリカ系アメリカ人の間では8%と、2012年にロムニーが得たよりも高い得票率を得て、実際に勝利した。

しかし、全米の93%の郡は、経済的には2008年の時点と同じか、それ以下の状態にあった。オバマの二期の任期の下で、株式市場は価値が3倍になったが、賃金は停滞しており、経済的分極化は資料によって十分に裏付けられている。これが党内でバーニー・サンダースの反乱の原動力となった感情であったが、民主党全国大会はそれを鎮静化させた。その後、クリントンは右へと走り寄り、それ以来すべての選挙サイクルにおいて合衆国の労働者階級と貧困層が直面している核心問題についてはいかなる意味がある議論も行われてこなかった。

その結果は投票者数に現れた。何百万人もの貧しく、抑圧された、労働者階級の若者たち—2008年と2012年には相当な数でオバマを支持した彼らは、四半世紀にわたって権力の最頂点の周りにいて、明らかに権力者たちが好む候補者である根本的に信頼できない人物 [=クリントン] に動機づけされたり、鼓舞されたりすることはなかった。

[クリントンによる] 象徴主義の薄っぺらな政治は、民主党の基盤を結集するのに十分ではなかった。この国は選挙日にすべての人が魔法のようにトランプ支持者に変わることはなく、長年の民主党支持者がトランプに流れた形跡もほとんどない。一般投票は、それがすべて数えられたら、実際にはクリントンのほうが多いことを示すかもしれない。(もちろん、この国の約3100万人の人々には、投獄中または執行猶予中であるために、あるいは移住の条件のために、選挙権から除外されているのだが。)

しかし、クリントンの女性候補であることの強調、そしてトランプの露骨な性差別主義は、例えば大学教育を受けていない白人女性層の支持を集めるには十分ではなかった。オバマ大統領は2008年にはこの集団からの支持をうまく集めたのだが、今回は62%がトランプに投票した。こうした有権者は収縮する雇用の見通しや不確かな将来など現実的な問題に関心を持っている。都市郊外や地方の白人地区の多くでは、麻薬中毒問題が急速に広がっている。外国貿易の影響は最大の関心事だ。そのような有権者にとっては、たとえトランプに嫌悪感を覚えたとしても、彼は変革の公約と共に現れたのであった。

大西洋の向こう側でのブレグジット（英国のユーロ離脱）と同様に、トランプに投票した有権者の多くは、自分たちが何のために投票したのか明確なプログラムを持たないまま、エリートに対する拒絶を表明していた。

トランプは右翼でナショナリストのデマゴグだ。彼はペテン師だ。彼には実際のプログラムはない。大統領に就任すれば、彼はクリントンも採用したであろうオバマ政権と同様の政策を多く採用することになるだろう。彼はクリントンが雇ったであろう同じ顧問やワシントンのインサイダーを雇うであろう。

現職の大統領の属する党が「変革」を掲げる候補者に敗れてホワイトハウスの地位を失うことは、初めてのことでない。実際、勝利する党の交替というのは、1930年代以来の大統領政治の一般法則である。過去84年間で、新しい大統領が現職の大統領と同じ政党から選出されたのは1988年の一度だけで、この時にはジョージ・H・W・ブッシュはすでに副大統領であった。

クリントンはウォール・ストリート、軍産複合体、そしてジョージ・W・ブッシュのチームの核心を形成した右翼ネオコンの外交政策エリートたちに気に入られた候補者であった。フォーチュン100企業のCEO（最高経営責任者）の誰一人として、共和党の候補者のキャンペーンに寄付をしなかった。ほとんど例外なく、支配階級は三流の不動産王でリアリティー・ショー番組のペテン師であるトランプに、この資本主義の砦への鍵を持たせて大丈夫だとは思ってていなかった。ウォール・ストリートは、トランプは自ら去るだけだと思っていたが、その真の理由はトランプは全資本家階級のCEOを演じるには「不適格」だと彼らが考えていたからだ。カール・マルクスが『共産党宣言』のなかで鋭く書いているように、「近代の国家権力は、**全ブルジョア階級の共同事務を処理する委員会に他ならない**」のである（強調は引用者）。

それゆえ、何百万人もの人々が、政治的エスタブリッシュメントとそれが代表する支配階級からの支持を欠如させた激しい人種差別主義者、女性蔑視者であるトランプに投票したことは衝撃的な展開のように思われる。

トランプは、いかなる実際の解決策も提示しないまま、ウォール・ストリート、資本主義的企業、それらに奉仕するワシントンDCの政治エリートたちの政策と行動によって雇用とコミュニティーを破壊されてきた白人労働者階級にデマゴギー的に訴えている。

右翼は「政治的エスタブリッシュメント」を執拗に攻撃しているが、人種差別主義と偏見以外には何のプログラムも持ち合わせていない。そうした右翼の政治的指導者はペテン師だ。彼らのメッセージは、あなたとは民族や宗教が異なる同僚の労働者を憎めということだ。彼らは、「アメリカを再び偉大に」といった空虚で退屈なスローガン以外に、ウォール・ストリートによって押し付けられた荒廃に対する回答を持っていない。

トランプ政権が働く人々にとって意味するものは何か？

トランプは気まぐれで予測がつかない指導者であり、彼の選挙キャンペーンが励ましてきた極端な反動勢力は、彼の大統領就任によって和らぐことはないだろう。トランプのキャンペーンは、

その典型的な特徴としての反エスタブリッシュメントのレトリック（および時に陰謀論）と結びついた公然たる人種差別主義と女性蔑視という米国政治における新しい右翼潮流の台頭を手助けしてきた。

トランプの勝利はそれ自体としては米国におけるファシズムの到来を告げるものではないが、これはファシズムの成長のための肥沃な土壌を提供している。この潮流は、主として共和党の内部で作用し続けるか、あるいはそれ自体の組織形態に発展するかにかかわらず、残り続けるだろう。

極右は深刻な危機を表しているが、我々が民主党の後ろについていだければ、それは問題をいっそう悪化させるだけだ。次期政権に対するすばやく独立した動員によってこそ、我々は右翼がさらなる牽引力を得ることを防ぐことができる。

1月20日の大統領就任式に対するワシントン DC での大衆動員

現在、何百万人もの人々にとって、学生債務を取り消し、民間保険機関を解体して無償で入手可能な保健医療制度をつくり、最低賃金を上昇させ、何百万人もの未組織労働者を労働組合へと組織することは、きわめて重要なことだ。バーニー・サンダースがウォール・ストリートを犯罪企業と呼んだ時、何百万人もの労働者階級の人々と青年はそれに同意した。何百万人もの人々がシリアその他ののでのあらゆる新しい戦争に反対している。大統領執務室に座る物たちはこれらの問題を無視し続けている。

社会主義解放党にとって、我々の活動は、国中の人々と共に 1月20日の大統領就任式に対する抗議行動への動員することで、直ちに始まる。米国において、そして国際的に、政治的緊張が高まっており、きたる期間は重要な時期となる。左派の前にある課題はこの闘いを牽引することにある。左派が真のリーダーシップを提供しない限り、右翼のデマゴグとファシストたちはその空白を埋め続ける。代償は大きい。行動すべき時はまさに今だ。###

原文:

<https://www.liberationnews.org/united-states-of-trump-whats-at-stake-the-fight-back-begins/>